

令和7年度 後期「学校評価」の結果報告

向春の候、保護者の皆様には、いつも本校教育にご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。教職員と児童、保護者の皆様からの学校評価について集計をしましたので、その結果をお知らせします。今回の学校評価の結果をもとに、児童一人一人に寄り添った教育を推進していきますので、今後もご支援、ご協力よろしくお願ひいたします。

令和7年度 学校評価 結果(12月・7月)

上段(令和7年度12月) 下段(令和7年度7月)

A よく当てはまる B やや当てはまる C あまり当てはまらない D 当てはまらない

西条市立橋小学校

【回答率】教職員100% 児童100% 保護者 82%

| 児童像 | 具体的な取組 | 番号 | 対象 | 設問 | A よく | B やや | C あまり | D まったく | 肯定的 | 否定的 | 考察・改善案等(継続したほうがいいこと、よかったこと、改善案) |
|---------------------------------------|---|-----|-----------------------------|--|-------------------------|-------------------------|-------|--------|------|--|--|
| たくましい心と体の橋つ子 | ふるさと「橋」を素材にした、 体験活動 (栽培活動等)、 環境教育 (緑の少年団活動)を推進し、 ふるさと感謝し、たくましく生きぬく児童 を育てる。 | 1 | 教職員 | 地域学校協働活動を通して、たくましく生きぬく児童を育てている。 | R7.12月 77% 70% | 23% 30% 0% | | | 100% | 0% | ・7月と比較しても、教職員・児童・保護者の肯定的評価はいずれも非常に高く、安定して推移している。地域学校協働活動や体験活動を通して、児童が地域の方々に感謝の気持ちを持ちながら生活している姿が継続して見られる。前期から後期にかけて、この取組が学校生活の中に定着してきていることがうかがえる。 |
| | | | 児童 | 地域の方々に感謝の気持ちを持って生活している。 | R7.12月 68% 79% | 31% 20% 0% | | | 99% | 1% | ○今後も地域の皆様と連携した体験活動を継続し、活動後の振り返りを通して、感謝の気持ちを自分の言葉で表現できるよう指導していきます。 |
| | | | 保護者 | お子様は、地域の方々とのふれあいを通して、感謝の気持ちを持っている。 | R7.12月 30% 35% | 64% 59% 6% | | | 94% | 6% | ○今後も地域の皆様と連携した体験活動を継続し、活動後の振り返りを通して、感謝の気持ちを自分の言葉で表現できるよう指導していきます。 |
| | 望ましい生活習慣の確立、食育の推進、保健・体育活動の充実により、児童のたくましい心身を培う。 | 2 | 教職員 | 「食育」「外遊び」等を推進し、児童の健康・体力つくりに努めている。 | R7.12月 54% 38% | 46% 62% | | | 100% | 0% | ・学校における取組については、7月と12月を比べても高い評価を維持している。一方で、児童・保護者の回答を見ると、前期から後期にかけて大きな変化ではなく、家庭での生活習慣の定着については引き続き課題が見られる。 |
| | | | 児童 | 「早寝・早起き・朝ご飯」を毎日続け、天気のよい日には外で遊んでいる。 | R7.12月 54% 55% | 40% 40% 6% 5% | | | 94% | 6% | ・月1回の生活調べについては、7月・12月ともに教職員の評価は非常に高く、継続的な取組として定着していることが分かる。前期から後期にかけて、生活の振り返りを行う習慣が児童に根付いてきていると考えられる。 |
| | | | 保護者 | お子様は、ご家庭で、毎日、「早寝・早起き・朝ご飯」をし、天気のよい日には進んで外遊びをしている。 | R7.12月 23% 51% | 61% 41% 16% 8% | | | 84% | 16% | ○引き続き、学校での指導を継続するとともに、家庭で実践しやすい具体例を示しながら、生活習慣の定着を家庭と連携して進めています。 |
| | | | 教職員 | 月一度の生活調べを活用し、児童の生活習慣の確立に努めている。 | R7.12月 54% 46% | 46% 54% 0% 0% | | | 100% | 0% | ○今後も生活調べを継続し、児童の変化を丁寧に捉え、家庭とも情報を共有しながら支援を行っていきます。 |
| | 体験的な学習、問題解決的な学習等において、様々な考え方を出し合い、学び合う授業実践により、ともに伸びようとする児童を育てる。 | 4 | 教職員 | 体験的な学習、問題解決的な学習等、絶えず授業改善を行い、そこで、様々な考えを出し合う場を設定して、学び合う児童を育てている。 | R7.12月 62% 46% | 38% 54% 0% | | | 100% | 0% | ・授業中の話合いや意見交流について、児童の肯定的評価は7月から12月にかけて概ね維持されている。一方、保護者の評価では、家庭での「話す・聞く」場面について、前期と同様の課題が見られる。学校で培った力を家庭生活へつなげる工夫が、引き続き求められている。 |
| | | | 児童 | 授業中、グループや全体の話合いで、友達の話をよく聞いたり、自分の意見をすすんで発表したりしている。 | R7.12月 44% 57% | 43% 40% 9% 4% | | | 87% | 13% | ・補充的・発展的な学習については、7月・12月ともに教職員の評価が高く、継続した授業改善が行われていることが分かる。 |
| | | | 保護者 | お子様は、ご家庭で、人の話をよく聞き、また、自分の思いや意見を積極的に話している。 | R7.12月 23% 44% | 58% 40% 19% 0% | | | 81% | 19% | ○授業での学び合いの様子を積極的に発信し、家庭でも児童が学びを言葉にする機会を増やしていきます。 |
| | | | 教職員 | 補充的な学習・発展的な学習を取り入れることにより、基礎・基本の確実な定着に努めている。 | R7.12月 93% 93% | 7% 7% | | | 100% | 0% | ○今後も個に応じた指導を大切にし、児童が学習の成果を実感できる場を継続して設定していきます。 |
| | | | 教職員 | 全校縦割り班活動の充実等により、ともに伸びようとする児童を育てる。 | R7.12月 23% 23% | 70% 70% 7% | | | 93% | 7% | ・縦割り班活動については、7月と12月を比較しても児童・保護者ともに高い評価を維持している。活動を重ねる中で、学年を超えた関わりが自然なものとして定着してきている様子がうかがえる。 |
| | 全校縦割り班活動の充実等により、ともに伸びようとする児童を育てる。 | 6 | 児童 | 学級活動、集会活動、全校縦割り班活動の工夫により、ともに伸びようとする児童を育てている。 | R7.12月 77% 72% | 21% 28% | | | 98% | 2% | ○今後も縦割り班活動を工夫し、互いに助け合い、学び合う姿をさらに育てていきます。 |
| | | | 保護者 | お子様は、地域活動で、友達と協力して活動できている。 | R7.12月 38% 57% | 54% 32% 8% 11% | | | 92% | 8% | ○今後も縦割り班活動を工夫し、互いに助け合い、学び合う姿をさらに育てていきます。 |
| | | | 教職員 | 「おはよう」「ありがとう」「返事」等ができるよう、継続して指導・支援している。 | R7.12月 54% 54% | 46% 46% | | | 100% | 0% | ・学校内での挨拶については、7月から12月にかけて高い評価を維持している。一方、家庭や地域での挨拶については、前期同様に課題が見られ、学校外での実践につなげることが今後の課題であると考えられる。 |
| あいさつ運動の推進、美化活動の推進により、笑顔の絶えない学校づくりをする。 | 7 | 児童 | 自分から進んで気持ちのよいあいさつをしている。 | R7.12月 57% 66% | 37% 32% 5% 3% | | | 94% | 6% | ○特に地域に対しての挨拶指導を継続し、どの場面でも進んで挨拶ができる児童の育成を目指します。 | |
| | | 保護者 | お子様は、ご家庭や地域で、積極的にあいさつをしている。 | R7.12月 28% 51% | 59% 40% 13% 0% | | | 87% | 13% | ○気持ちの良い、相手に伝わる挨拶や返事の仕方について指導します。 | |

| 児童像 | 具体的な取組 | 番号 | 対象 | 設問 | A よく | B やや | C あまり | D まったく | 肯定的 | 否定的 | 考察・改善案等(継続したほうがいいこと、よかったこと、改善案) |
|---------------|--|-----|--------------------------------------|---|---------------|-------|-------|--------|-----|--|---------------------------------|
| ばかり色のつえがつお子で | 「互いに認め合い、励まし合い、戒め合う学級・学校づくり」を通じて、「夢と希望」に満ちた学校づくりをする。 | 8 | 教職員 | 「善悪のけじめ」「学習規律の確立」「道徳教育」等を通して、互いに認め合い、励まし合い、戒め合う学級・学校づくりに努めている。 | R7.12月 77% | 23% | | 100% | 0% | ・「善悪のけじめ」や「互いに認め合う姿勢」については、7月・12月ともに高い評価が得られている。前期から後期にかけて、児童の安心感がより高まっていると考えられる。 ・教育相談体制については、7月・12月ともに教職員の評価が非常に高い。 ○今後も道徳教育や学級活動を通して、思いやりの心を育てる取組を継続していきます。相談体制についても早期対応を大切にし、保護者との連携を密にしながら支援を続けていきます。 | |
| | | | 児童 | 「やってはいけないこと」「やっていいこと」「やらなければならないこと」のけじめをつけ、友達と認め合い、はげまし合い、注意し合って活動している。 | R7.12月 51% | 42% | 7% | 93% | 7% | | |
| | | | 保護者 | お子様は、ご家庭や地域で、「善悪のけじめ」をつけ、進んでよい行いをしている。 | R7.12月 27% | 64% | 9% | 91% | 9% | | |
| | | 9 | 教職員 | 教育相談体制・指導体制を整え、児童が安心して通える学級・学校づくりに努めている。 | R7.12月 77% | 23% | | 100% | 0% | | |
| なにごとも進んで行う橋つ子 | 特別活動(話合い・集会・係・委員会活動も)等、自主的に実践できるよう、継続して指導・支援している。 基礎基本の確実な定着に向けた授業実践、「家庭学習の手引き」等による家庭学習の推進等により、主体的に学習に取り組む児童を育てる。 | 10 | 教職員 | 「話合い」「集会」「係(委員会活動も)」等、自主的に実践できるよう、継続して指導・支援している。 | R7.12月 70% | 30% | | 100% | 0% | ・学校での係活動や委員会活動については、7月から12月にかけて高い評価を維持している。一方、家庭での手伝い等については前期と同様に課題が見られます。 ・清掃活動については、前期・後期を通して安定した評価が得られており、主体的に取り組む姿が定着していると考えられる。 ○学校で育てた自主性を家庭生活にも生かせるよう、家庭と連携した取組を進めています。 ○清掃活動では今後も活動の意味を振り返り、自分たちの学校を大切にする心を育てていきます。 | |
| | | | 児童 | 学級のかかりの仕事(高学年は委員会活動も)などといっしょにけんめいしている。 | R7.12月 70% | 29% | 1% | 99% | 1% | | |
| | | 11 | 保護者 | お子様は、ご家庭で、自分の仕事やお手伝い等、進んで行っている。 | R7.12月 19% | 49% | 30% | 68% | 32% | | |
| | | | 教職員 | 自主的に美化活動に参加し、主体的に実践できるよう、継続して指導・支援している。 | R7.12月 23% | 70% | 7% | 93% | 7% | | |
| 家庭・地域との連携・協力 | 地域活動への積極的な参加、地域ボランティアの計画的な活用、等により、学校・家庭・地域の連携を強める。 各種たより、HP等による情報発信、行事の感想等による情報収集の充実等により、双方向の情報共有に努め、学校・家庭・地域の連携を強める。 | 12 | 教職員 | 家庭学習習慣の定着を目指した取り組みを工夫し、継続して指導・支援している。 | R7.12月 54% | 46% | 0% | 100% | 0% | ・家庭学習については、児童の評価は7月から12月にかけて高い水準を維持しているが、保護者の評価では引き続き課題が見られる。家庭学習の取り組み方に差があることが要因と考えられる。 ○「家庭学習の手引き」を活用し、家庭と連携しながら、無理なく継続できる学習習慣の定着を図ります。 | |
| | | | 児童 | 家で、自分で進んで勉強したり、ちゃんと次の日の勉強の準備をしたりしている。 | R7.12月 63% | 30% | 6% | 93% | 7% | | |
| | | 13 | 保護者 | お子様は、ご家庭で、自分で進んで学習したり、きちんと次の日の学習の準備を行ったりしている。 | R7.12月 32% | 41% | 25% | 73% | 27% | | |
| | | | 教職員 | 「地域活動への積極的な参加(リサイクル活動・危険箇所点検等への参加)、教育課程に地域素材を計画的に取り入れるなどすることにより、学校・家庭・地域の連携を強める取組を実践している。 | R7.12月 93% | 7% | | 100% | 0% | | |
| | | 13 | 児童 | 地域の行事にすすんで参加したり、地域の人といっしょに楽しく活動したりしている。 | R7.12月 77% | 18% | 4% | 95% | 5% | ・地域行事への参加については、7月・12月ともに高い評価を維持しており、150周年記念事業など、地域とともに子どもを育てる取組が実践できている。 ○今後も地域の皆様とのつながりを大切にし、学びを深めていきます。 | |
| | | | 保護者 | お子様は、地域行事に積極的に参加している。 | R7.12月 53% | 36% | 11% | 89% | 11% | | |
| | | 14 | 教職員 | 学校便り・保健便り・HP等による積極的な情報発信、保護者や地域からの意見・情報収集に努め、学校・家庭・地域の連携を強める取組を実践している。 | R7.12月 93% | 7% | | 100% | 0% | | |
| | | | 児童 | 家の人に、学校ことを話したり、お知らせを確かめたりしている。 | R7.12月 80% | 14% | 5% | 94% | 6% | | |
| | | 保護者 | 学校便り・保健便り等を読んだり、学校のホームページを閲覧したりしている。 | R7.12月 45% | 42% | 8% 5% | 87% | 13% | | | |
| | | | | | R7.7月 44% | 43% | 8% 5% | | | | |